

地域で支える、地域を支える

平成30年度
地域介護専門職員研修
開催要綱

- ① 地域アセスメント研修
- ② 企画力アップ研修
- ③ 相談援助面接研修（記録編）
- ④ 相談援助面接研修（初級編）
- ⑤ 相談援助面接研修（中級編）
- 新設

⑥ 相談援助面接研修（指導・実践編）
- ⑦ 福祉用具研修
- ⑧ 住宅改修研修
- ⑨ 排泄ケア研修（地域ケア編）
- ⑩ 排泄ケア研修（施設編）
- 新設

新設

⑪ ピンポイント介護技術研修（移乗介助）
- ⑪ ピンポイント介護技術研修（おむつの介助）

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
介護実習・普及センター

・ もくじ

1. 目的	P 2
2. 主催	P 2
3. 受講対象	P 2
4. 主な受講対象者	P 2
5. 会場	P 2
6. 参加負担金について	P 2
7. 定員	P 2
8. 受講者の決定について	P 3
9. 受講申込み期間	P 3
10. 受講準備シート、振り返りシートについて	P 3
11. 修了証について	P 3
12. その他	P 3
13. 受講申込み、お問い合わせ	P 3

・ 研修コース

①地域アセスメント研修	P 4
②企画力アップ研修	P 5
③相談援助面接研修（記録編）	P 6
④相談援助面接研修（初級編）	P 7
⑤相談援助面接研修（中級編）	P 8
⑥相談援助面接研修（指導・実践編）	P10
・ 相談援助面接研修（中級編）（指導・実践編）の受講申込みにあたって	P11
・ 基本情報シート	P13
⑦福祉用具研修	P14
⑧住宅改修研修	P15
⑨排泄ケア研修（地域ケア編）	P17
⑩排泄ケア研修（施設編）	P18
⑪ピンポイント介護技術研修（移乗介助編）・（おむつ介助編）	P21

1. 目 的

介護に関する相談援助業務、介護業務を行う上で必要な知識・技術について、より専門性を高め、かつ自らの所属する施設（機関、事業所等）内に限らず広く地域において中核的・指導的な役割を担う人材の養成を目的とします。

2. 主 催

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

3. 受講対象

- 高齢者福祉関係機関・施設等の職員で、職場内に限らず広く地域において介護の中核的・指導的な役割を担うことができる職員（または期待される職員）を受講対象とします。
- 研修コースごとに事前学習課題や受講対象が設定されていますので、各研修コースの受講対象およびプログラムをよくご確認ください。
- 基礎的な知識・技術を有していることを前提に研修内容を構成しているため、いずれの研修コースも新規採用職員は受講対象としておりません。

4. 研修の主な対象者一覧

※詳細については、別添のとおりです。

	地域包括職員	介護支援専門員	相談員	介護員	その他
①地域アセスメント	○		○		担当者等
②企画力アップ	○		○		担当者等
③相談援助（記録）	○	○	○	○	管理職等
④相談援助（初級）	○	○	○		
⑤相談援助（中級）	○	○	○		
⑥相談援助（指導・実践）	○	○	○		
⑦福祉用具	○	○	○		看護職員等
⑧住宅改修	○	○	○		看護職員等
⑨排泄ケア（地域ケア）	○	○	在宅施設	在宅施設	看護職員等
⑩排泄ケア（施設）			入所(宿泊)施設	入所(宿泊)施設	看護職員等
⑪ピンポイント介護技術				在宅施設	

※□内に記載もしくは、○のついている者が、主な受講の対象者となります。

※無印の者も、受講は可能です。

5. 会 場

『福島県男女共生センター』 〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1

6. 参加負担金について

- 研修会初日に徴収します（一度納められた参加負担金は返金しません）。
- 研修会出席に伴う旅費、宿泊費等は申込者の負担とします。

7. 定 員

- 原則、先着順といたしますが、一部研修については、講師による事前課題評価の結果が受講レベルに達していないと判断された場合、申込者並びに所属長あて受講意向の再確認の連絡をする場合がございます。
- 同一の研修コースに複数名の申込みをした施設（機関・事業所）については、定員超過の場合、受講者数の調整をさせて頂く場合がありますので、予めご了承ください。

8. 受講者の決定について

○申込み締切後に受講者を決定し、受講決定通知を所属長宛てに送付します。

なお、受講決定通知は、研修コースごとに事前学習課題の提出などの関係書類とあわせて研修開催期日の約1ヶ月前までに送付します。

○開催期日の早い研修コースから随時送付しますが、**研修2週間前になっても受講決定通知等が届かない場合はご連絡下さい。**

9. 受講申込み期間

平成30年5月15日（火）9：00～5月31日（木）16：00

※別紙『**受講申込書**』『**受講申込者調書**』に記入の上、FAXにてお申込みください。送信状は不要です。

※5月15日（火）9時前に受信したFAXについては、受付無効とさせていただきます。

※定員に満たない研修については、当該研修の1カ月前まで、申込期間を延長します。その際は電話等でご確認ください。

※申込みを受理した場合は、受講申込書の「到着確認印」欄に受付印を捺印し、FAX（返信先）に返信いたします。2日たっても返信がない場合は、必ずご連絡ください。

10. 受講準備シート、振り返りシートについて

研修効果を高めるため、「受講準備シート」と「振り返りシート」を提出いただきます。

受講申込者調書下部の「受講準備シート」に必ず記載の上、申込み時に送ってください。

また、「振り返りシート」については研修終了時に説明いたします。

なお、事前課題が設定されている研修については、受講決定通知の案内に従って、課題を作成、提出いただきますのでご了承ください。

11. 修了証について

研修を全日程受講された受講者に対し修了証を発行いたします。

なお、欠席、遅刻、途中退席された方への修了証発行はできませんのでご了承ください。

12. その他

○個人情報の取扱いについて

『受講申込書』『受講申込者調書』に記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ利用させていただきます。

なお、本研修の名簿に氏名・所属・職名を記載します。

○各コースとも、全日程受講を原則とします（一部のみを受講することはできません）。

13. 受講申込み・お問い合わせ

福島県社会福祉協議会 介護実習・普及センター

〒964-0904 二本松市郭内一丁目196-1（福島県男女共生センター5階）

電話 0243-23-8306 FAX 0243-62-4633

※毎週、日・月曜日・祝日が休みとなります。

※なお、月曜日が祝日の場合は火曜日が休館日になりますのでご注意ください。

① 地域アセスメント研修

～地域の“つむぎ手”を目指そう！福祉の架け橋づくり～

(1) 目的

地域を対象に開催する事業やイベント、また会議などを運営・実施するにあたって、地域の状況や住民のニーズを把握するための地域アセスメントの具体的手法を学ぶ。

(2) 日程

平成30年6月20日（水）～ 21日（木）【2日間】

(3) 受講対象

介護等に関する講座（教室）や会議等の企画・実施・運営等を行っている職員または予定している職員。

※受講決定後に事前学習課題を提出することが必須条件となります。

※地域アセスメント研修のみの受講も可能ですが、②企画力アップ編とのセット受講を推奨します。

(4) 定 員 30名

(5) 参加負担金 3,000円

(6) 事前学習課題について

◎課題内容の詳細は、受講決定通知書とともにご案内します。なお、提出していただいた課題は、研修中の演習で実際に使用します。

【テーマ】「受講者が生活している地域における、日常的な課題や問題」

【提出物】指定ワークシート様式

1 日目		
9:50～10:00	オリエンテーション	合同会社 泉恵造研修企画工房 代表社員（工房長） 泉 恵造 氏
10:00～10:35	プロローグ グループ内自己紹介	
10:35～11:00	基調講義Ⅰ	
11:00～11:10	— 休憩 —	
11:10～12:00	基調講義Ⅱ	
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～14:30	演習①『地域の不便さを探そう』	
14:30～14:40	— 休憩 —	
14:40～17:00	演習②『 地域の資源を探してみよう』	
2 日目		
9:30～14:50 ※休憩含む	演習③『 地域アセスメントを考えてみよう』	合同会社 泉恵造研修企画工房 代表社員（工房長） 泉 恵造 氏
14:50～16:15	演習④『願いを短冊にまとめよう』	
15:20～16:00	全体の振り返り	

※研修は適宜、休憩をとりながら行います。

② 企画力アップ研修

～地域の“引き立て役”をめざそう！ファシリテーション上手のススメ～

(1) 目的

地域を対象に実施する事業やイベントを行う上の会議（地域ケア会議、運営推進会議、ネットワーク会議）などを運営・実施するにあたっての企画や準備、実施の基本的な手法等を学ぶ。

(2) 日程

平成30年8月2日（木）～ 3日（金）【2日間】

(3) 受講対象

会議（地域ケア会議、運営推進会議、ネットワーク会議等）などの企画・実施等を行っている職員または予定している職員。

※企画力アップ研修のみの受講も可能ですが、①地域アセスメント研修からのセット受講を推奨します。

(4) 定員 30名

(5) 参加負担金 3,000円

1日目		
9:50～10:00	オリエンテーション	合同会社 泉恵造研修企画工房 代表社員（工房長） 泉 恵造 氏
10:00～11:00	プロローグ 基調講義Ⅰ『地域課題に向き合うために』 住民懇談会編・プレ講義	
11:00～12:00	『パート1 互いを知り合う リラックスする』	
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～14:35	『パート2 情報を共有する・発送を転換させる』	
14:35～14:45	— 休憩 —	
14:45～16:50	『パート3 地域の強みを発見する 価値を再発見する』	
16:50～17:00	初日の振り返り	
2日目		
9:30～12:00	『パート4 便乗発展させながら自由に発想を巡らせる』	合同会社 泉恵造研修企画工房 代表社員（工房長） 泉 恵造 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～14:00	住民研修編・プレ講義	
14:00～16:15	『パート5 研修企画を作ってみよう』	
16:15～16:30	ふりかえり：地域の“引き立て役”をめざそう！	

※プログラムは講師との打ち合わせにより、一部変更する場合がありますので、ご了解ください。

③ 相談援助面接研修（記録編） ～短時間で適切な内容を表現するテクニック～

（１）目 的

組織内での情報共有を始め、多職種連携（チームケア）を展開する上で、重要なツールである記録、情報開示や説明責任が生じた際に対応する記録について、適切な書き方や記録の目的・意義等について学ぶ。

（２）日 程

第１班：平成３０年 ７月１１日（水）【 １日間 】

第２班：平成３０年１１月２１日（水）【 １日間 】

※第１班、第２班の内容は、同じです。

（３）受講対象

相談業務等に従事している者のうち、基礎的な知識・技術を有する職員で、より専門的かつ実践的な知識技術の習得を期待される職員。

（４）定 員 各３０名

（５）参加負担金 ２，０００円

※研修テキストとして、研修講師著書を別途ご購入いただきます。

１日目		
9:30～ 9:50	受付	福島県立医科大学 放射線医学県民 健康管理センター 特任准教授 八木 亜紀子 氏
9:50～10:00	オリエンテーション	
10:00～12:00	講義Ⅰ『 対人援助職に求められる記録とは 』	
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～17:00 (途中休憩あり)	演習Ⅰ『SOAPで表現する』 ～Subjective Objective Assessment Plan～	

※研修プログラムについては、現在講師と調整中です。一部内容を変更する場合がございますのでご了承ください。

※SOAPとは…情報を[S]ubjective(主観的情報)、[O]bjective(客観的情報)、[A]ssessment(アセスメント、見立て)、[P]lan(支援計画)に整理して記録する、記録形式の１つ。頭文字をとってSOAPという。

④ 相談援助面接研修（初級編）

～よりよい援助関係をつくるために～

（１）目 的

対人援助職にとって必要な倫理や、面接に関する基礎的な知識・技術について再確認し、実践的な能力を高めることにより、相談援助業務を円滑に進められるようになる。

（２）日 程

第１班 平成３０年 ８月２４日（金）～２５日（土）【計２日間】

第２班 平成３０年１１月３０日（金）～１２月１日（土）【計２日間】

※第１班、第２班の内容は、同じです。

（３）受講対象

現在、相談業務に１年以上従事している者（社会福祉士、相談員等）のうち、基礎的な知識・技術を有する職員で、より専門的かつ実践的な知識技術の習得を期待される職員。

※同一年度に相談援助面接研修（中級編）と重複して受講することはできません。

（４）定 員 各５０名

（５）参加負担金 ３，０００ 円

１日目		
9:30～9:50	受付	
9:50～10:00	オリエンテーション	
10:00～12:00	講義Ⅰ『相談援助専門職に必要とされる資質について①』	しらかわ介護福祉専門学校 校長 千葉 喜弘 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～14:30	講義Ⅱ『相談援助専門職に必要とされる資質について②』	
14:30～14:40	— 休憩 —	
14:40～17:00	演習Ⅰ『相談面接の実際（電話編・訪問編）』 ※ビデオ「面接への招待」を使用しての演習	
２日目		
9:30～12:00	講義Ⅲ『相談援助専門職の心得と対人援助職の基本的視点①』 ～面接機能の枠組み、機能等について、 援助者の自己覚知とは～	しらかわ介護福祉専門学校 校長 千葉 喜弘 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～14:30	講義Ⅳ『相談援助専門職の心得と対人援助職の基本的視点②』 ～面接機能の枠組み、機能等について、 インテークの重要性を知るためには～	
14:30～16:30	演習Ⅱ『相談援助専門職のスキルアップのために必要な視点』 ～インテークから脱三角関係の面接演習 利用者へ近づく支援実践のため～	

※プログラムを一部変更する場合がございますので、予めご了承願います。

⑤ 相談援助面接研修（中級編）

～対人援助関係に必要なスキルアップとセンスを磨く～

（１）目 的

相談業務において、利用者の生活状況や生活課題をより理解・分析するための方法や援助者としての態度・価値観を習得し、援助技法のスキルアップを図ることにより、利用者や家族との関係の構築や支援困難な事例等にも柔軟に対応・介入できる知識や技術を学ぶことを目的とする。

（２）日 程

前 期：平成３０年８月 ９日（木）～１０日（金）

後 期：平成３０年９月 ４日（火）～ ５日（水）【計４日間】

（４）受講対象

相談業務に５年以上従事している職員（社会福祉士、生活相談員、介護支援専門員、地域包括支援センターの職員等）で、職場内または地域において中核的な役割を担っている職員。または担うことが期待される職員。※相談援助面接研修（初級編）未受講の方は、先に（初級編）をご受講ください。

※参加申込時に「基本情報シート」を添付するとともに、受講決定後に事前学習課題を提出することが必須条件になります。

※同一年度に相談援助面接研修（初級編）と重複して受講することはできません。

（５）定 員 ４０名

（６）参加負担金 ５，０００円

（７）受講申し込みにあたって

◎受講申し込みの際、「受講申込書①②」と共に「基本情報シート」を提出してください。「基本情報シート」が未提出の場合は受付できませんのでご了承ください。

◎「基本情報シート」の記載方法については、別添「平成３０年度地域介護専門職員研修⑤相談援助面接研修（中級編）の受講申し込みにあたって」（Ｐ１２）を参考にしてください。

◎経験年数や提出課題の内容を基に、受講者選考をさせていただきますのでご了解ください。

（８）事前学習課題について

◎受講申し込み時に提出する「基本情報シート」に加えて、「初回面接要約シート」を提出していただきます。

◎「初回面接要約シート」の記載方法については、受講決定通知とともに案内します。

なお、提出いただいた課題は、研修中の演習で実際に使用します。

⑤ 相談援助面接研修（中級編）

4日間（前期2日 / 後期2日）

前期 - 1日目

9:30～ 9:50	受付	
9:50～10:00	オリエンテーション	
10:00～12:00	講義Ⅰ『相談援助面接の基本と援助姿勢の考え方』 ～もう一度、バ이스ティックについて～	東日本国際大学 健康福祉学部 教授 松本 喜一 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～16:30 (途中休憩あり)	演習Ⅰ 『事例をととして、ロールプレイによる面接のスキルアップ①』	
16:30～17:00	『フィードバックとまとめ』	

前期 - 2日目

9:30～12:00	講義Ⅱ『利用者の理解するために…』 ～生活状況・心理的理解とアセスメントの方法～	東日本国際大学 健康福祉学部 教授 松本 喜一 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～16:00	演習Ⅱ 『事例をととして、ロールプレイによる面接のスキルアップ②』	
16:00～16:30	『全体の振り返り』	

後期 - 1日目

9:30～ 9:50	受付	
9:50～10:00	オリエンテーション	
10:00～12:00	講義Ⅲ『ソーシャルワークとアプローチ技法①』 ～医学モデル・社会モデル・エンパワーメントモデル～	東日本国際大学 健康福祉学部 教授 松本 喜一 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～17:00 (途中休憩あり)	演習Ⅲ『ロールプレイによる面接のスキルアップ③』	

後期 - 2日目

9:30～12:00	講義Ⅳ『ソーシャルワークとアプローチ技法②』 ～認知行動療法、システム論的家族療法アプローチ法等～	東日本国際大学 健康福祉学部 教授 松本 喜一 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～16:00	演習Ⅴ『ロールプレイによる面接のスキルアップ④』	
16:00～16:30	『研修のまとめ』	

※プログラムを一部変更する場合がございますので、予めご了承ください。

⑥ 相談援助面接研修（指導・実践編）

～相談援助面接のスキルアップと、気づきを促す～

（１）目 的

相談援助職のスーパービジョンの基本的な考え方や技術について再確認するとともに、将来、職場や地域においてスーパーバイザーとして支援者を育成する活動ができるようにする。

（２）日 程

平成31年 2月21日（木）～22日（金）【計2日間】

（３）受講対象

相談業務に従事している職員で、過去に（中級編）を受講した者で、職場内または地域において指導的な立場にあり、将来、スーパーバイザーとして職場や地域での活躍が期待される職員。

※参加申込時に「基本情報シート」を添付するとともに、受講決定後に事前学習課題を提出することが必須条件になります。

※同一年度に相談援助面接研修（初級編）（中級編）と重複して受講することはできません。

（４）定 員 20名

（５）参加負担金 3,000円

（６）受講申し込みにあたって

◎受講申し込みの際、「受講申込書①②」と共に「基本情報シート」を提出してください。「基本情報シート」が未提出の場合は受付できませんのでご了承ください。

◎「基本情報シート」の記載方法については、別添「平成30年度地域介護専門職員研修⑤相談援助面接研修（指導・実践編）の受講申し込みにあたって」（P12）を参考にしてください。

◎経験年数や提出課題の内容を基に、受講者選考をさせていただきますのでご了解ください。

（７）事前学習課題について

◎研修受講時に使用する事例を提出いただきます。詳細については、受講決定通知書とともに案内します。提出課題は、研修中の演習で実際に使用します。

（８）その他

◎プログラムは、受講生の提出課題や傾向に合わせて変更する場合があります。詳細については、開講時に講師より説明があります。

⑥ 相談援助面接研修（実践・指導編）

2日間

1日目

9:30～ 9:50	受付	
9:50～10:00	オリエンテーション	
10:00～12:00	講義Ⅰ『 スーパービジョンの基礎を学ぶ 』 ～スーパービジョンの必要性と方法について～	東日本国際大学 健康福祉学部 教授 松本 喜一 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～17:00 (途中休憩あり)	演習Ⅰ『DVD視聴演習』 ～スーパービジョンの3つの機能を学ぶ～	

2日目

9:30～12:00	演習Ⅱ『 スーパービジョン実践1 』 ～提出された事例をもとにグループスーパービジョン、 ライブスーパービジョンを行う～	東日本国際大学 健康福祉学部 教授 松本 喜一 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～16:00	演習Ⅲ『スーパービジョン実践2』 ～提出された事例をもとにグループスーパービジョン、 ライブスーパービジョンを行う～	
16:00～16:30	『全体の振り返り』	

相談援助面接研修（中級編）・（指導・実践編）の受講申込みにあたって

受講を申し込む際に、「受講申込書」と共に「基本情報シート」を提出していただきます。

- ◎「基本情報シート」の記載にあたっては、以下の要領で簡略にまとめてください。
- ◎事例提出のために、改めて情報収集をしていただく必要はありません。
- ◎現時点で、知っている（いた）範囲で「基本情報シート」をまとめてください。
- ◎テーマ（表題）を必ずつけてください。

＜注意＞

- ◎ 事例をまとめる際は、本人もしくは家族から了解を取ってください。
- ◎ また、固有名詞など、本人が特定される名称は絶対書かないこと。氏名は勿論のこと、病院名、地名も書かないこと。これらは発表の時も、厳守してください。

I. 基本情報シート

テーマ：『ここ最近（過去6ヶ月以内を目安に）、ご自身が担当したケースで、印象に残っている事例』

例 うまくいったケース、困難だったケースなど

※枠内に知っている内容を漏れなく、簡潔に記入ください。

- ①ケースの氏名（略名）・年齢・性別・既往歴・現病歴・介護認定などを簡潔に記入してください。
- ②このケースと関わった最初の紹介者とその時の主訴を簡潔に記入してください。
- ③初回面接時の本人の主訴や要望、ご家族の主訴や要望を簡潔にまとめてください。
- ④知っている範囲での生活歴・職歴・既往歴（家族構成含む）

大まかで構いません。どこで生まれ、どんな家族歴（結婚・子供・転居など）があつて、どんな職業に
ついたか、また本人のイメージがつかめるように書いてください。

家族図については、以下の「家族関係等作成時の記号等一覧表」に基づき記載してください。

【家族関係等作成時の記号等一覧表】

＼ …… 別居	＼＼ …… 離婚	× …… 死亡	： …… 養子
□ …… 男性	○ …… 女性	（ □ や ○ の中に年齢を書く ）	
—— …… 太線で関係を示せば関係が強い			
← …… 矢印はエネルギーが流れる（向かう）方向			
← に （重ねて書く）または ← に ～ （重ねて書く）は、ストレスや葛藤を示す			
←…… は希薄な関係を示す			
[家族構成図] 子ども等を記載する場合は「左側」から書いていく。性別、年齢を記入すること。			

⑤援助経過

これまでの援助経過を簡潔に書いてください。

⑥提出意図

何故このケースを選んだのか。このケースに着目したところはどんな点ですか。

また、このケースに対し自分はどう考えたか（考えているか）など、記入してください。

⑦表題（テーマ）をつける

このケースを他者に伝える際に、概要がわかるような要約的なテーマをつけてください。

例 「独居認知症高齢者との関わりの難しさ」、「本人と家族の意向の違いに悩む」等。

⑧自己紹介（受講者自身）

名前、年齢、性別、出生地、学歴、職歴、趣味、現在の職場での位置（地位）や自己職業に関する感想
など自由に書いてください。（自己アピールです。伝えたいことを要約して書いてください）

※コピーするか、県社協 HP よりダウンロードしてご使用ください。

基本情報シート

所属名

氏名

受 付	年 月 日		受付方法		電話・訪問・来所・その他		
紹介者		紹介時 主 訴					
氏 名	様	性別	男・女	生年月日	明・大・昭・平	年生まれ(歳)	
本 人 家族の 主 訴 要 望	<本人主訴要望> <家族主訴要望>						
生活歴 ・ 職 歴 ・ 既往歴					<家族構成>		
介 護 認 定	初回認定 年 月 日				障害の日常生活自立度 < >		
	現介護度 要支援・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ				認知症日常生活自立度 < >		
被保険 者情報	・医療保険:健保・国保・老人 ・収入状況:自営・給与・年金、月額約 万円。 ・身障手帳: 種 級()						
援助の 経 過							
提 出 意 図							
テーマ							
自 己 紹 介							

⑦ 福祉用具研修

～利用者にマッチした福祉用具を選ぼう～

(1) 目的

在宅高齢者や在宅復帰予定の高齢者等が安心して自立した生活を送れるようにするために、福祉用具についての基本的な知識や技術、他（多）職種（理学療法士、作業療法士等）との連携のあり方等を学ぶ。

(2) 日程

平成30年 7月4日（水）～ 5日（木）【2日間】

(3) 受講対象

主に高齢者等の相談支援業務に従事している職員で、利用者の生活支援のための福祉用具導入に関する基本的知識・技術の習得が期待される職員。

※福祉用具研修のみの受講も可能ですが、⑧住宅改修研修とのセット受講をお勧めします。

(4) 定 員 25名

(5) 参加負担金 3,000円

1 日目		
9:30～ 9:50	受付	
9:50～10:00	オリエンテーション	
10:00～11:30	講義Ⅰ『 福祉用具活用のための留意点とポイント』 ～在宅生活を支援していくために、 福祉用具活用にあたっての基本的な考え方を学ぶ～	(有) 介護福太郎 悠悠いきいき倶楽部あいづ 理学療法士 高橋 育子 氏
11:30～12:00	『 福祉機器展示室見学 』	
12:00～13:00	― 昼食・休憩 ―	
13:00～16:30	実技Ⅰ『 起居、移乗、移動関連用具・機器等について 』 ～4グループに分かれて、起居、移乗、移動関連用具・機器等の使用方法等を学ぶ～	(一社)ふくしまをリハビリ で元気になる会 理事長 岡本 宏二氏
16:30～16:45	『 まとめ 』	
2 日目		
9:30～11:30	講義Ⅱ『 福祉用具導入のリスクマネジメント 』	有) 介護福太郎 悠悠いきいき倶楽部あいづ 理学療法士 高橋 育子 氏
11:30～12:30	― 昼食・休憩 ―	
12:30～16:00	実技Ⅱ『 入浴、排泄関連用具・機器等について 』 ～4グループに分かれて、移動、入浴、排泄関連用具・機器等の使用方法等を学ぶ～	(一社)ふくしまをリハビリ で元気になる会 理事長 岡本 宏二氏
16:00～16:10	― 休憩・移動 ―	
16:10～16:30	『 まとめ 』	

※プログラムは講師との打ち合わせにより、一部変更する場合がありますので、ご了解ください。

⑧ 住宅改修研修

～適切なアドバイスができる援助者になろう～

(1) 目 的

在宅高齢者や在宅復帰予定の高齢者が安心して自立した在宅生活を送れるようにするため、住宅改修についての基本的な知識や技術、他（多）職種（理学療法士、建築士等）との連携のあり方等を学ぶ。

(2) 日 程

前期：平成30年 8月28日（火）～ 29日（水）

後期：平成30年11月16日（金）～ 17日（土）【計4日間】

(3) 受講対象

主に高齢者の相談支援業務に従事している職員で、利用者の生活支援のための住宅改修に関する基本的知識・技術の習得が期待される職員。

※住宅改修研修のみの受講も可能ですが、⑦福祉用具研修とのセット受講をお勧めします。

(4) 定 員

30名

(5) 参加負担金

5,000円

(6) 学習課題について

[その1]前期前課題

事前学習課題として、住宅改修について困っていることや、疑問に思ったことを「住宅改修に関するアンケート」として提出していただきます。事前課題については、受講決定通知とともに案内します。

なお、提出いただいた課題は、研修中の演習で実際に使用します。

[その2]前期→後期間の課題

前期の日程終了後、締め切りまでに課題を提出していただきます。なお、提出いただいた課題については、後期研修中の事例検討で実際に使用します。

<課題>

①住宅改修事例フェイスシート

②「住宅改修前」と「住宅改修後」の図面

なお、指定様式および課題の詳細については、前期の日程中に説明します。

※研修プログラム、事前課題の内容については、一部変更する可能性があります。

⑧ 住宅改修研修

4日間（前期2日間/後期2日間）

前期 - 1日目

9:30～ 9:50	受付	
9:50～10:00	オリエンテーション	
10:00～11:30	講義Ⅰ『図面作成の基礎知識』 ・図面の知識がなぜ必要か・建築用語の解説・図面の見方、書き方の基礎知識	NOB設計工房 一級建築士 菅野 真由美 氏
11:30～12:30	— 昼食・休憩 —	
12:30～14:00	演習Ⅰ『図面を読む』～実際に図面を読み、図面の見方について理解を深める～	
14:00～14:10	— 休憩 —	
14:10～16:00	演習Ⅱ『図面を書く』～簡単な図面を書き、図面の書き方について理解を深める～	
16:00～16:20	研修間課題の説明	

前期 - 2日目

9:30～11:30	講義Ⅱ『住宅改修に取り組むにあたって（総論）』 ～住宅構造に関する基礎知識を学ぶとともに、住宅改修のプロセスについて理解を深める～	(一財)太田綜合病院 附属太田西ノ内病院 医療福祉相談室 科 長 高橋 淳 氏
11:30～12:30	— 昼食・休憩 —	
12:30～13:30	講義Ⅲ『住宅改修のポイント』	いわき市立総合磐城共立病院 リハビリテーション室 副医療技師長 織笠浩一 氏
13:30～13:40	— 休憩 —	
13:40～16:30 (適宜休憩)	事例検討Ⅰ『ビデオによる事例検討 ①個人ワーク』 ～ビデオに登場する事例について、アセスメントを行い、住宅改修計画を立案する～	NOB設計工房 一級建築士 菅野 真由美 氏

後期 - 1日目

9:20～ 9:40	受付	
9:40～10:00	前回の振り返り	
10:00～12:00	事例検討Ⅰ『ビデオによる事例検討 ②グループワーク』 ～ビデオに登場する事例について、グループで検討する～	(一財)太田綜合病院 附属太田西ノ内病院 医療福祉相談室 科 長 高橋 淳 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～14:30	事例検討Ⅰ『ビデオによる事例検討 ②グループワーク』つづき	
14:30～16:00	事例検討Ⅰ『プレゼンテーション（発表）・質疑応答』	
16:00～16:10	— 休憩 —	
16:10～17:00	事例検討Ⅱ『事前学習課題 ①個人ワーク』 ～利用者の要求（ディマンス）と相談者が必要だと感じたこと（ニーズ）の整理を行う～	いわき市立総合磐城共立病院 リハビリテーション室 副医療技師長 織笠浩一 氏

後期 - 2日目

9:30～10:30	事例検討Ⅱ『事前学習課題 ②グループワーク』 ～グループ内で各個人の事例のプレゼンテーションを行う～	NOB設計工房 一級建築士 菅野 真由美 氏
10:30～10:40	— 休憩 —	
10:40～12:00	事例検討Ⅱ『事前学習課題 ②グループワーク』 ～グループ内で検討する事例を選出し、プレゼンテーションの準備を行う～	NOB設計工房 一級建築士 菅野 真由美 氏
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～14:45	事例検討Ⅱ『事前学習課題 ②グループワーク』 つづき	
14:45～16:15	事例検討Ⅱ『プレゼンテーション（発表）・質疑応答』	
16:15～16:30	『まとめ』	

⑨ 排泄ケア研修（地域ケア編）

～その人らしさを失わず、住み慣れた地域で過ごし続けるために私たちができること～

（１）目 的

利用者の尊厳を護り、自主性を促し、能力を最大限に生かした排泄ケアの提供について、その支援に必要な考え方・手法を、基本的知識（排泄のメカニズム、排泄障害の原因と対処法、排泄ケアのためのアセスメント）を通して学ぶ。また、他（多）職種連携によるチームケアの意義、地域包括ケアシステムにおける自施設の役割を認識できる。

（２）日 程

平成30年 7月19日（木）～20日（金）【計2日間】

※包括職員やケアマネジャー並びに在宅系（デイ、訪問介護など）施設職員を中心に受講者を募ります。

※⑩排泄ケア研修（施設編）と同日開催します。

（３）受講対象

現在、介護や相談援助等の業務に従事しており、排泄ケアに関する基礎的な知識・技術を有する職員で、より専門的かつ実践的な知識・技術の習得が期待される者。

※事前学習課題の提出が必須条件になります。

（４）定 員

40名

（５）参加負担金

3,000円

（６）プログラムについて

排泄ケア研修（地域ケア編）のプログラムについては、排泄ケア研修（施設編）前期と共通の内容となります。

（７）事前学習課題について

◎課題内容の詳細は、受講決定通知とともに案内します。

課題1 【テーマ】「排泄のケアについて困難だと感じていること。または日頃から疑問に感じていることについて」

【提出物】アンケート（質問票）1枚

課題2 【テーマ】「受講者自身の排尿記録（3日間）」

※事例対象者ではなく、受講生本人の排尿記録となります。

【提出物】指定様式 1枚

※事前課題の内容については、一部変更する可能性があります。

⑩ 排泄ケア研修（施設編）

～利用者と協働で行う、自立支援のための排泄ケア～

（１）目 的

利用者の尊厳を護り、自主性を促し、能力を最大限に生かした排泄ケアの提供について、その支援に必要な考え方・手法を、基本的知識（排泄のメカニズム、排泄障害の原因と対処法、排泄ケアのためのアセスメント）を通して学ぶ。また、他（多）職種連携によるチームケアの意義、地域包括ケアシステムにおける自施設の役割を認識できる。

（２）日 程

前 期：平成３０年 ７月１９日（木）～２０日（金）

後 期：平成３０年 ９月２１日（金）～２２日（土）【計４日間】

※入所系（特養、老健、グループホームなど）施設職員を中心に受講者を募ります。

※前期日程は、⑨排泄ケア研修（地域ケア編）と同日開催します。

（３）受講対象

現在、介護等業務に３年以上従事しており、排泄ケアに関する基礎的な知識・技術を有する職員で、より専門的かつ実践的な知識技術の習得が期待される者。

※事前学習課題（事例、受講者本人排尿記録）の提出が必須条件になります。

（４）定 員

４０名

（５）参加負担金

５,０００円

（６）事前学習課題について

◎課題内容の詳細は、受講決定通知とともに案内します。

なお、提出課題は、研修中の演習で実際に使用する場合があります。

課題１

【テーマ】「排泄の問題をもつ利用者に対して、チームでケアに取り組んだが、解決が困難だったもの」

【提出物】指定アセスメント様式、レポート作成（字数制限あり）等

課題２

【テーマ】「受講者自身の排尿記録（３日間）」

※事例対象者ではなく、受講生本人の排尿記録となります。

【提出物】指定様式 １枚

⑨⑩排泄ケア研修（共通）

地域ケア編2日間/施設編前期2日間

1日目（前期1日目）

9:20～ 9:40	受付	排泄ケアサポートセンター — ウエルビーイング オフィス K 代表 梶原 敦子 氏
9:40～ 9:50	オリエンテーション	
9:50～12:00	講義Ⅰ『排泄ケアに必要な基礎知識』 ～排泄ケアの考え方、基本的姿勢、排泄のメカニズム、正常、排泄障害の理解～	
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～14:00	講義Ⅱ『排泄ケアのアセスメント』 ～排泄ケアにおけるアセスメントの必要性とその手法を学ぶ～	
14:00～14:10	— 休憩 —	
14:10～15:30	演習Ⅰ『アセスメントに活用できる排泄記録の読み方・使い方』 ～排泄記録の読み方の演習をととしてアセスメントの実際を体験する～	
15:30～15:40	— 休憩 —	
14:40～16:50	講義Ⅲ『認知症高齢者の排泄ケア』 ～認知症の症状の特徴を知り、その特徴に即した適切なかわり方を学ぶ～	
16:50～17:00	質疑	

2日目（後期1日目）

9:20～9:30	グループワークオリエンテーション	排泄ケアサポートセンター — ウエルビーイング オフィス K 代表 梶原 敦子 氏
9:30～10:30	演習Ⅱ『地域循環を促す排泄ケアに必要な連携について』（グループワーク） ～それぞれの職場で何ができるか、何をすべきか～	
10:30～10:40	— 休憩 —	
10:40～12:00	『発表とディスカッション』	
12:00～13:00	— 昼食・休憩 —	
13:00～13:40	講義Ⅳ『排泄用具・用品の適正利用に必要な知識』 ～排泄用具使用の意義・適切な選定のためのポイントを学ぶ～	
13:40～15:50 (移動・休憩含む)	体験実習『排泄ケアに役立つ用具・用品ならびに食品』 ～排泄用品・健康食品等のメーカーから説明を受け、 触れて、確認して体験的に学ぶ～	
15:50～16:00	— 休憩 —	
15:00～16:40	講義Ⅴ・演習Ⅲ『便秘解消のためのツボ押し、マッサージ』	
16:40～17:00	質疑	

⑩排泄ケア研修（施設編）

後期2日間

後期 - 1 日目

9:30～ 9:40	受付	
9:40～ 9:50	オリエンテーション	
9:50～10:50	講義Ⅰ『排泄ケアにおける問題の捉え方、目標の設定評価について』	排泄ケアサポートセンター — ウエルビーイング オフィス K 代表 梶原 敦子 氏
10:50～11:00	— 休憩 —	
11:00～11:40	講義Ⅱ・演習Ⅰ『骨盤底筋体操の実際』	
11:40～11:50	— 休憩 —	
11:50～12:15	講義Ⅲ『事例検討の方法』 ～事例検討の意義、事例検討の活かし方を学ぶ～	
12:15～13:15	— 昼食・休憩 —	
13:15～13:30	事例検討オリエンテーション	
13:30～15:00	事例検討Ⅰ ～事前学習課題（事例）の中から講師が選定して 1事例についてグループで検討する～	
15:00～15:10	— 休憩 —	
15:10～16:40	『発表とディスカッション』	
16:40～17:00	質疑	

後期 - 2 日目

9:20～10:40	事例検討Ⅱ ～事前学習課題（事例）の中から講師が選定して 1事例についてグループで検討する～	排泄ケアサポートセンター — ウエルビーイング オフィス K 代表 梶原 敦子 氏
10:40～10:50	— 休憩 —	
10:50～12:20	『発表とディスカッション』	
12:20～13:20	— 昼食・休憩 —	
13:20～14:40	事例検討Ⅲ ～事前学習課題（事例）の中から講師が選定して 1事例についてグループで検討する～	
14:40～14:50	— 休憩 —	
14:50～16:10	『発表とディスカッション』	
16:10～16:50	『研修全体のまとめ』	

※プログラムは講師との打合せにより、一部変更する場合がありますので、ご了承ください。

⑪ ピンポイント介護技術研修（移乗介助編）／（おむつ介助編） ～もう一度学びなおす介護の基本動作～

（１）目 的

要介護者の生活を支える基本的な介護技術について学び、適切な支援が行えるようになるとともに、職員間や家族などにもアドバイスができる職員を目指す。

（２）日 程

移乗介助編：平成３０年１０月１１日（木）【計１日間】

おむつ介助編：平成３０年１１月 １日（木）【計１日間】

（３）会 場 『福島県男女共生センター』 〒964-0904 二本松市郭内一丁目１９６－１

（４）受講対象

高齢者福祉関係機関・施設等の職員で、職場内に限らず、広く地域において高齢者介護の中心的・指導的役割を担うことができる者（または期待されているもの）

（５）定 員 各３０名

※いずれの回も、申込は各施設１名までとさせていただきます。施設内で希望者多数の場合は、講師を紹介させていただきますので施設内で研修を行ってください。

（６）参加負担金 ３，０００円

※研修テキストとして、研修講師著書を別途ご購入いただきます。

⑪ピンポイント介護技術研修（移乗介助編）		１日間
12:40～13:00	受付	
13:00～13:10	オリエンテーション	
13:10～14:00	講義『介護技術の基本（移乗介助編）』	一般社団法人 福島県介護福祉士会 （現在調整中）
14:00～14:10	— 休憩 —	
14:10～17:00 （途中休憩あり）	実技『移乗介助』	

⑪ピンポイント介護技術研修（おむつ介助編）		１日間
12:40～13:00	受付	
13:00～13:10	オリエンテーション	
13:10～14:00	講義『介護技術の基本（おむつ編）』	一般社団法人 福島県介護福祉士会 （現在調整中）
14:00～14:10	— 休憩 —	
14:10～17:00 （途中休憩あり）	実技『おむつの介助』	

※プログラムは現在調整中です。

福島県社会福祉協議会 介護実習・普及センター 行き
FAX : 0243-62-4633

到着
確認印

※受講申込書①と②を併せて送信ください。

※確認印が受講決定を確約するものではありません

<様式1>

平成30年度 地域介護専門職員研修

受講申込書①

平成30年____月____日

福島県社会福祉協議会 事務局長 様

申込者(所属長)

施設・機関等名	
所属長 職・氏名	(事務担当者)
所在地 〒	
Tel	Fax

下記の者に標記研修を受講させたく申込みます。

1. 受講希望者の氏名・生年月日

ふりがな
氏名
生年月日 (昭和・平成) 年 月 日 (歳)

※左記の受講希望者について、<様式2>受講申込者調査に記入し、<様式1>と併せてお申し込みください。
※複数の研修にお申し込みになる場合は、<様式2>について、研修ごとに記入し、提出してください。

※裏面も忘れずに記入し、併せて送信してください。

2. 受講希望コースの選択

希望する研修コースの欄に○をつけてください。

○	研 修 名	○	研 修 名
	⑤ 地域アセスメント研修		⑥相談援助面接研修(指導・実践編)
	② 企画力アップ研修		⑦ 福祉用具研修
	③ 相談援助面接研修(記録編) 第1班		⑧住宅改修研修
	③ 相談援助面接研修(記録編) 第2班		⑨ 排泄ケア研修(地域ケア編)
	④ 相談援助面接研修(初級編) 第1班		⑩ 排泄ケア研修(施設編)
	④ 相談援助面接研修(初級編) 第2班		⑪ピンポイント介護技術研修 移乗
	⑤ 相談援助面接研修(中級編)		⑪ピンポイント介護技術研修 おむつ

3. 申込期間 平成30年5月15日(火) 9:00 ~ 5月31日(木) 16:00

(注意) 5月15日9時前にFAX受信したものについては、受付無効とさせていただきます。

(注意) 送信いただいてから3日以内に、こちらから返信が行かない場合は、必ずお電話ください。

※申込用紙が不足する場合は、コピーしてご使用ください。

※申込研修が複数ある場合は、それぞれの研修ごとに作成してください。

所属施設名			
ふりがな 氏 名		性別 (自任)	男 ・ 女
現職名		現職 経験年数	年 ヶ月
有資格 (○印)	①社会福祉主事　②社会福祉士　③介護福祉士　④保健師　⑤看護師（准看護師） ⑥介護支援専門員　⑦理学療法士　⑧作業療法士　⑨ホームヘルパー　⑩介護職員初任者研修 ⑪その他（ ）		
<u>現職以外</u> の業務歴（過去に従事した福祉・保健・医療等の業務）	[職種]	[年数] 年 ヶ月	
	[職種]	[年数] 年 ヶ月	
例：[職種] 特養生活相談員 [年数] 2年5ヶ月	[職種]	[年数] 年 ヶ月	

※職名および現職経験年数欄は、平成30年6月1日現在従事している業務についての内容を記入願います。

※『業務歴』欄は、過去に従事した福祉・保健・医療等の業務についてその〔職種〕・〔経年数〕を記入してください。

また、異動により業務が変わった場合についても同様に記入してください。

希望研修名【 】

【受講者本人記載欄】※下記も必ず記載してください。

↑複数研修に申込みの場合記入してください

研修に期待すること、学びたいことは何ですか？	
研修に対しての不安や疑問、講師に対して質問などがありますか？	

【所属長記載欄】※下記も必ず記載してください。

職名・氏名	
どんなことに期待して職員を派遣されましたか。	
受講生に期待することは何ですか。	

※＜様式1＞と併せて、送信してください。